



概念

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 6.2

NetApp

October 28, 2025

目次

概念	1
製品概要	1
さまざまなSnapCenterユーザーインターフェースの概要	2
ライセンス	3
ロールベースアクセス制御（RBAC）	4
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereユーザ向けのRBACのタイプ	4
vCenter Server RBAC	4
ONTAP RBAC	5
RBAC権限の検証ワークフロー	5
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのONTAP RBAC機能	6
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereに付属の事前定義されたロール	7
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere用にONTAP RBACを設定する方法	8

概念

製品概要

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、Linuxベースの仮想アプライアンスとして導入されます。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、環境に次の機能を追加します。

- VM整合性およびクラッシュ整合性のあるデータ保護処理がサポートされます。

VMware 仮想マシン (従来の VM および vVol VM)、VMDK、およびデータストアのすべてのバックアップおよび復元操作には、vCenter の VMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスを使用できます。vVol VM (vVolデータストア内のVM) の場合は、クラッシュ整合性バックアップのみがサポートされます。また、VMやVMDKをリストアしたり、ゲストOS上に存在するファイルとフォルダをリストアしたりすることもできます。

VM、VMDK、およびデータストアをバックアップする場合、プラグインではRDMはサポートされません。VMのバックアップジョブではRDMが無視されます。RDMをバックアップする必要がある場合は、SnapCenterアプリケーションベースのプラグインを使用する必要があります。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのメタデータを含むMySQLデータベースが含まれています。VM整合性およびクラッシュ整合性のあるデータ保護を実現するには、SnapCenterサーバをインストールする必要はありません。

- アプリケーションと整合性のある (VMDK / RDM経由の) データ保護処理がサポートされます。

VM 上のプライマリ ストレージとセカンダリ ストレージ上のデータベースとファイル システムのすべてのバックアップおよび復元操作に、SnapCenterユーザー インターフェイスと適切なSnapCenterアプリケーション プラグインを使用できます。

SnapCenterは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを標準で活用して、VMDK、rawデバイスマッピング (RDM) 、NFSデータストア上のすべてのデータ保護処理を実行します。仮想アプライアンスの導入後は、vCenterとのやり取りがすべてプラグインで処理されます。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、SnapCenterのアプリケーションベースのプラグインをすべてサポートしています。

SnapCenter は、データベースと VM の単一スナップショットをサポートしていません。VM とデータベースのバックアップは個別にスケジュール設定して実行する必要があり、データベースと VM が同じボリュームにホストされている場合でも個別のスナップショットが作成されます。SnapCenterユーザー インターフェイスを使用してデータベース アプリケーションのバックアップをスケジュールし、VMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスを使用して VM およびデータストアのバックアップをスケジュールします。

- VMと整合性のあるスナップショットにはVMwareツールが必要

VMware Toolsがインストールされて実行されていない場合、ファイルシステムは休止されず、crash-consistentスナップショットが作成されます。

- SAN (VMFS) 環境でのリストア処理には、 VMware Storage vMotion が必要です

VMware ファイルシステム (VMFS) のリストアワークフローでは、VMware Storage vMotion機能を使用します。Storage vMotionはvSphere Standardライセンスに含まれていますが、vSphere EssentialsまたはEssentials Plusライセンスでは使用できません。

NFS環境のほとんどのリストア処理では、ONTAPの標準機能（Single File SnapRestoreなど）が使用され、VMware Storage vMotionは必要ありません。

- VMware VVOL VMを設定するには、ONTAP Tools for VMware vSphereが必要です。

ONTAPツールを使用して、ONTAPおよびVMware Web ClientでVVOL用のストレージをプロビジョニングおよび設定します。

詳細については、ONTAP tools for VMware vSphereのドキュメントを参照してください。さらに、以下を参照してください ["NetApp Interoperability Matrix Tool"](#) ONTAPツールでサポートされているバージョンに関する最新情報。

- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereをLinux VMの仮想アプライアンスとして導入

仮想アプライアンスはLinux VMとしてインストールする必要がありますが、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereではWindowsベースとLinuxベースの両方のvCenterがサポートされます。SnapCenterは、このプラグインを標準で使用します。ユーザの介入は必要ありません。vCenterと通信し、WindowsおよびLinuxの仮想アプリケーションに対してデータ保護処理を実行するSnapCenterアプリケーションベースのプラグインをサポートします。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、これらの主要な機能に加えて、iSCSI、ファイバチャネル、FCoE、NFS 3.0/4.1、VMFS 5.0/6.0、NVMe over FC、NVMe over TCPもサポートしています。

サポートされているバージョンに関する最新情報については、["NetApp Interoperability Matrix Tool"](#)（IMT）。

NFSプロトコルとESXiホストについては、VMwareが提供するvSphere Storageのドキュメントを参照してください。

SnapCenterのデータ保護の詳細については、のSnapCenterプラグインのデータ保護に関する情報を参照して["SnapCenter のドキュメント"](#)ください。

サポートされるアップグレードパスと移行パスについては、を参照してください ["SnapCenter Plug-in for VMware vSphere リリースノート"](#)。

さまざまなSnapCenterユーザーインターフェースの概要

SnapCenter環境では、適切なユーザー インターフェイスを使用してデータ保護および管理操作を実行する必要があります。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、他のSnapCenterプラグインとは異なるスタンドアロン プラグインです。VM、VMDK、およびデータストアのすべてのバックアップおよび復元操作には、vCenter の VMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスを使用する必要があります。また、Web クライアント ユーザー インターフェイス ダッシュボードを使用して、保護されている VM と保護されていない VM のリストを監視することもできます。バックアップと復元、ジョブ監視などのその他のすべてのSnapCenterプラグイン (アプリケーション ベースのプラグイン) 操作では、SnapCenterユーザー インターフェイスを使用します。

VMとデータストアを保護するには、VMware vSphere Clientインターフェイスを使用します。Web クライアント ユーザー インターフェイスは、ストレージ システム上のNetAppスナップショット テクノロジと統合されます。これにより、VMやデータストアを数秒でバックアップし、ESXiホストをオフラインにすることなくVMをリストアすることが可能です。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで管理操作を実行するための管理ユーザー インターフェイスもあります。

次の表は、 SnapCenterユーザー インターフェイスが実行する操作を示しています。

このユーザー インターフェイスを使用します...	実行する処理	バックアップへのアクセス
SnapCenter vSphere クライアント ユーザー インターフェイス	VM およびデータストアバックアップ VMDK を接続し、データストアマウントを接続解除して、VM および VMDK リストアゲストファイルおよびフォルダのリストアをアンマウントします	VMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスを使用した VM およびデータストアのバックアップ。
SnapCenterユーザーインターフェイス	VM上のデータベースとアプリケーションのバックアップとリストア（Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange、Oracleのデータベースの保護など） データベースクローン	SnapCenterユーザー インターフェイスを使用して実行されるバックアップ。
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere	ネットワーク設定の変更サポート バンドルの生成 NTP サーバ設定の変更プラグインを無効 / 有効にします	N/A
vCenter ユーザーインターフェイス	vCenter Active Directory ユーザに SCV ロールを追加するユーザまたはグループにリソースアクセスを追加する	N/A

VM 整合性のあるバックアップおよび復元操作を行うには、VMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスを使用する必要があります。データストアのマウントや名前変更など、一部の処理はVMware Toolsを使用して実行できますが、これらの処理はSnapCenterリポジトリに登録されず、認識されません。

SnapCenter は、データベースと VM の単一スナップショットをサポートしていません。VM とデータベースのバックアップは個別にスケジュール設定して実行する必要があります。データベースと VM が同じボリュームにホストされている場合でも個別のスナップショットが作成されます。アプリケーションベースのバックアップはSnapCenterユーザー インターフェイスを使用してスケジュールする必要があります。VM 整合性バックアップは VMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスを使用してスケジュールする必要があります。

ライセンス

次のストレージシステムを使用している場合、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は無償の製品です。

- オンプレミスのONTAPクラスタ（FAS、AFF、ASAシステム）
- Cloud Volumes ONTAP
- ONTAP Select

セカンダリデスティネーションにSnapCenter Standardライセンスを追加することを推奨しますが、必須では

ありません。セカンダリシステムで SnapCenter 標準ライセンスが有効になっていないと、フェイルオーバー処理の実行後に SnapCenter を使用できません。ただし、マウントおよび接続処理を実行するには、セカンダリストレージに FlexClone ライセンスが必要です。リストア処理を実行するには SnapRestore ライセンスが必要です。

ロールベースアクセス制御 (RBAC)

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、仮想化されたリソースを管理するための RBAC を強化します。このプラグインでは、vCenter Server RBAC と ONTAP RBAC の両方がサポートされています。

SnapCenter および ONTAP RBAC は、SnapCenter サーバのアプリケーション整合性 (VMDK 経由のアプリケーション整合性) ジョブにのみ適用されます。SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を使用して SnapCenter のアプリケーション整合性ジョブをサポートする場合は、SnapCenterAdmin ロールを割り当てる必要があります。SnapCenterAdmin ロールの権限を変更することはできません。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere には、事前定義された vCenter ロールが付属しています。SnapCenter 操作を実行するには、vCenter ユーザー インターフェイスを使用してこれらのロールを vCenter Active Directory ユーザーに追加する必要があります。

ロールの作成と変更、ユーザへのリソースアクセスの追加はいつでも実行できます。ただし、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を初めてセットアップするときは、少なくとも Active Directory のユーザまたはグループをロールに追加してから、それらのユーザまたはグループにリソースアクセスを追加する必要があります。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere ユーザ向けの RBAC のタイプ

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を使用している場合は、vCenter Server によってさらにレベルの RBAC が提供されます。このプラグインでは、vCenter Server RBAC と ONTAP RBAC の両方がサポートされています。

vCenter Server RBAC

このセキュリティメカニズムは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere で実行されるすべてのジョブに適用されます。ジョブには、VM-consistent、VM crash-consistent、SnapCenter Server application-consistent (VMDK 経由のアプリケーション) が含まれます。このレベルの RBAC は、仮想マシン (VM) やデータストアなどの vSphere オブジェクトに対して SnapCenter Plug-in for VMware vSphere タスクを実行する vSphere ユーザの権限を制限します。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入すると、vCenter での SnapCenter 処理用に次のロールが作成されます。

SCV Administrator
SCV Backup
SCV Guest File Restore
SCV Restore
SCV View

vSphere 管理者は、次の手順で vCenter Server RBAC を設定します。

- グローバル権限の下で、ユーザーを事前定義されたロールに関連付けることができます。
- ルートオブジェクト（ルートフォルダとも呼ばれます）に対するvCenter Serverアクセス許可を設定します。その後、アクセス許可が不要な子エンティティのアクセスを禁止することでセキュリティを強化できます。
- Active DirectoryユーザにSCVロールを割り当てます。

最低限、すべてのユーザがvCenterオブジェクトを表示する必要があります。この権限がないと、ユーザはVMware vSphere クライアント ユーザー インターフェイスにアクセスできません。

ONTAP RBAC

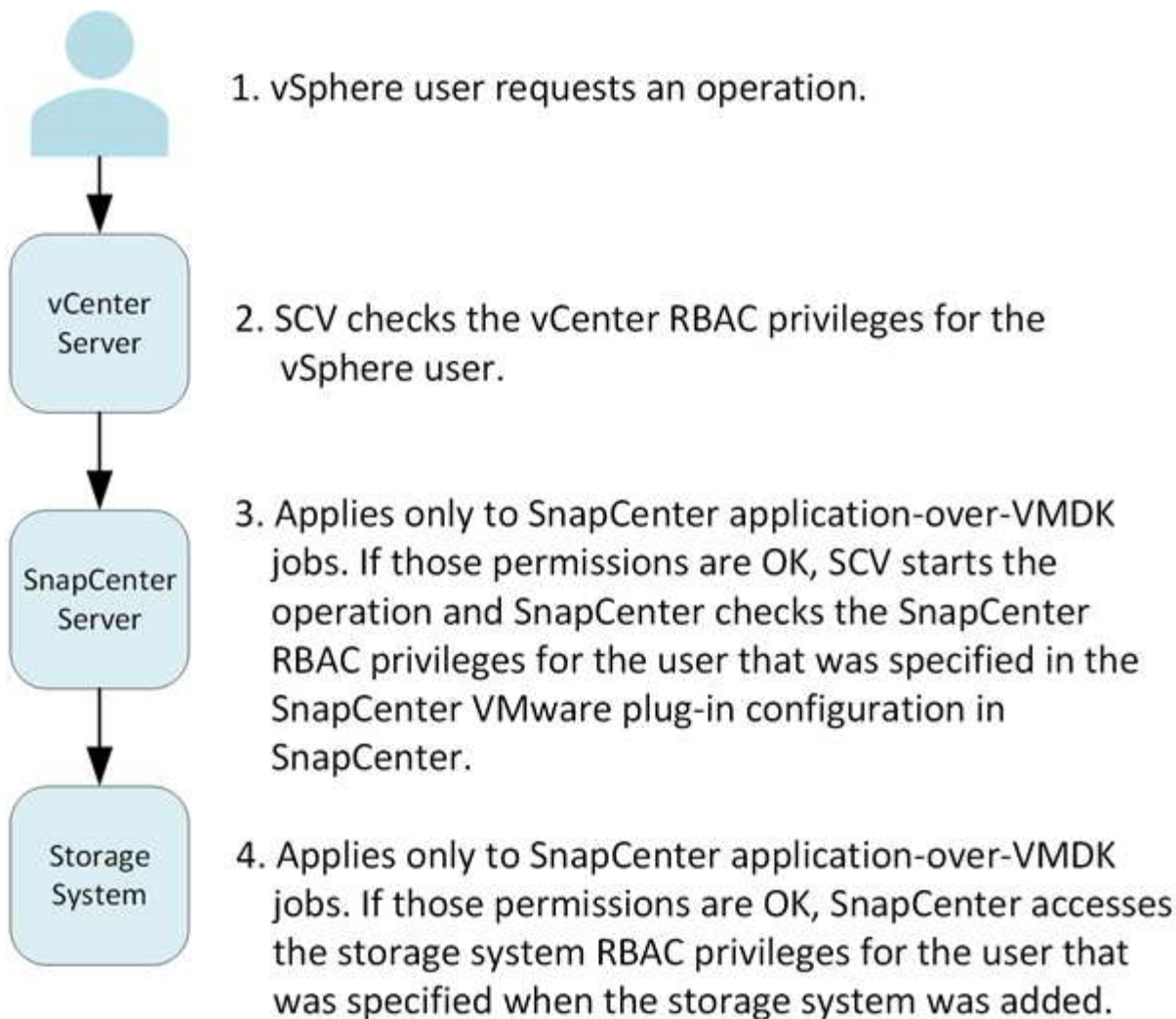
このセキュリティメカニズムは、SnapCenterサーバのアプリケーション整合性（VMDK経由のアプリケーション整合性）ジョブにのみ適用されます。このレベルでは、特定のストレージシステムに対して、データストアのストレージのバックアップなど、特定のストレージ処理をSnapCenterで実行する権限が制限されます。

ONTAPおよびSnapCenter RBACを設定するには、次のワークフローを使用します。

1. ストレージ管理者が、必要な権限を持つロールをStorage VM上に作成します。
2. 次に、ストレージ管理者がそのロールをストレージユーザに割り当てます。
3. SnapCenter管理者は、そのストレージユーザ名を使用してSnapCenterサーバにStorage VMを追加します。
4. 次に、SnapCenter 管理者が SnapCenter ユーザにロールを割り当てます。

RBAC権限の検証ワークフロー

次の図に、RBAC権限（vCenterとONTAPの両方）の検証ワークフローの概要を示します。



*SCV=SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのONTAP RBAC機能



ONTAP RBACは、SnapCenterサーバのアプリケーション整合性（VMDK経由のアプリケーション整合性）ジョブにのみ適用されます。

ONTAPのRole-Based Access Control（RBAC；ロールベースアクセス制御）を使用すると、特定のストレージシステムへのアクセスと、それらのストレージシステムでユーザーが実行できる操作を制御できます。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、vCenter Server RBAC、SnapCenter RBAC（アプリケーションベースの処理をサポートするために必要な場合）、およびONTAP RBACと連携して、特定のストレージシステムのオブジェクトに対して特定のユーザーが実行できるSnapCenterタスクを決定します。

SnapCenterでは、設定したクレデンシャル（ユーザー名とパスワード）を使用して各ストレージシステムを認証し、そのストレージシステムで実行できる処理を決定します。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、ストレージシステムごとに1セットのクレデンシャルを使用します。このクレデンシャルに基づいて、そのストレージシステムで実行できるすべてのタスクが決まります。つまり、このクレデンシャルは

SnapCenter のクレデンシャルであり、個々の SnapCenter ユーザに対するものではありません。

ONTAP RBAC は、ストレージシステムへのアクセス、および VM のバックアップなどのストレージに関連する SnapCenter タスクの実行にのみ適用されます。特定のストレージシステムに対する適切なONTAP RBAC 権限がないと、そのストレージシステムでホストされているvSphereオブジェクトに対してタスクを実行することはできません。

各ストレージシステムには、一連のONTAP権限が関連付けられます。

ONTAP RBACとvCenter Server RBACの両方を使用すると、次のようなメリットがあります。

- セキュリティ

どのユーザがどのタスクを実行できるかを、vCenter Serverオブジェクトレベルとストレージシステムレベルの両方で制御できます。

- 監査情報

多くの場合、SnapCenter はストレージシステムについての監査証跡を提供します。これにより、ストレージに対して変更を行った vCenter ユーザまでさかのぼってイベントを追跡できます。

- 使いやすさ

コントローラのクレデンシャルを一元的に管理できます。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereに付属の事前定義されたロール

vCenter Server RBACの使用を簡易化するために、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereには、ユーザによるSnapCenterタスクの実行を可能にする一連の事前定義されたロールが用意されています。また、タスクの実行を制限し、SnapCenter 情報の表示のみを許可する読み取り専用ロールもあります。

事前定義されたロールには、タスクを正しく完了するために必要なSnapCenter固有の権限とvCenter Server標準の権限の両方が含まれています。また、サポートされるすべてのバージョンのvCenter Serverで必要な権限がロールに設定されています。

管理者は、これらのロールを適切なユーザに割り当てることができます。

これらのロールは、vCenter Web Client Serviceの再起動やインストールの変更を行うたびに、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereによってデフォルト値（初期セットの権限）に戻ります。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereをアップグレードすると、事前定義されたロールがそのバージョンのプラグインで使用できるように自動的にアップグレードされます。

次の表に示すように、メニュー > 管理 > ロール を選択すると、vCenter ユーザー インターフェイスで定義済みのロールを確認できます。

ロール	製品説明
SCV管理者	すべてのSnapCenter Plug-in for VMware vSphereタスクの実行に必要なvCenter Server標準とSnapCenter固有のPrivilegesがすべて提供されています。SCV 6.1リリース以降では、セカンダリ保護を作成するための新しい権限がこのロールに追加されています。
SCV バックアップ	vSphereオブジェクト（仮想マシンおよびデータストア）のバックアップに必要なvCenter Server標準およびSnapCenter固有のPrivilegesがすべて提供されています。また、ユーザはconfigure権限にもアクセスできます。ユーザはバックアップをリストアできません。SCV 6.1リリース以降では、セカンダリ保護を作成するための新しい権限がこのロールに追加されています。
SCVゲストファイルのリストア	ゲストファイルとフォルダのリストアに必要なvCenter Server標準およびSnapCenter固有のPrivilegesがすべて提供されています。VMまたはVMDKをリストアすることはできません。
SCV Restore （SCV リストア）	SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してバックアップしたvSphereオブジェクトのリストア、およびゲストファイルとフォルダのリストアに必要なvCenter Server標準の権限とSnapCenter固有の権限がすべて含まれています。また、ユーザはconfigure権限にもアクセスできます。vSphereオブジェクトはバックアップできません。
SCVビュー	すべてのSnapCenter Plug-in for VMware vSphereのバックアップ、リソースグループ、およびポリシーへの読み取り専用アクセスが許可されます。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere用にONTAP RBACを設定する方法

ONTAP RBACは、SnapCenterサーバのアプリケーション整合性（VMDK経由のアプリケーション整合性）ジョブにのみ適用されます。



SnapCenter Plug-in for VMware (SCV) 5.0以降では、SCVへのカスタマイズされたロールベースアクセスを持つすべてのONTAPユーザに対して、HTTPおよびONTAPIタイプ of アプリケーションをユーザのログイン方法として追加する必要があります。これらのアプリケーションにアクセスできないと、バックアップは失敗します。ONTAPユーザのログイン方法の変更を認識するには、SCVサービスを再起動する必要があります。ログイン・アカウントの作成または変更については'を参照して ["カンリシャニンシヨウトRBACセツテイヨウノワアクシイト"](#)ください

Plug-in for VMware vSphereでONTAP RBACを使用する場合は、ストレージシステムにSnapCenter RBACを設定する必要があります。ONTAP で次のタスクを実行する必要があります。

- ロールを1つ作成します。

["カンリシャニンシヨウトRBAC"](#)

- ONTAPで、ロールのユーザ名とパスワード（ストレージシステムクレデンシャル）を作成します。

このストレージシステムのクレデンシャルは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere用のストレージシステムを設定するために必要です。これを行うには、プラグインでクレデンシャルを入力します。これらのクレデンシャルを使用してストレージシステムにログインすると、クレデンシャルの作成時にONTAPで設定したSnapCenter機能が表示されます。

管理者ログインまたは root ログインを使用すればすべての SnapCenter タスクにアクセスすることができますが、ONTAP の RBAC 機能を使用して、権限を制限したカスタムアカウントをいくつか作成することを推奨します。

詳細については、を参照してください "[必要な最小ONTAP権限](#)"。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。